

○市道・農道等の場合

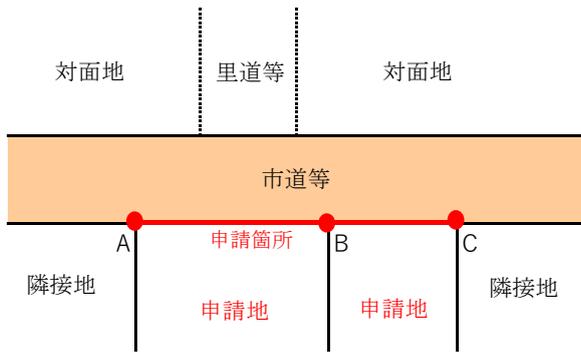
● ■ ▲ … 座標表示箇所

境界線上の折れ点で必要以上の断面を押える必要はありません

測点間距離が長い場合は測量者と相談し断面箇所を決定すること

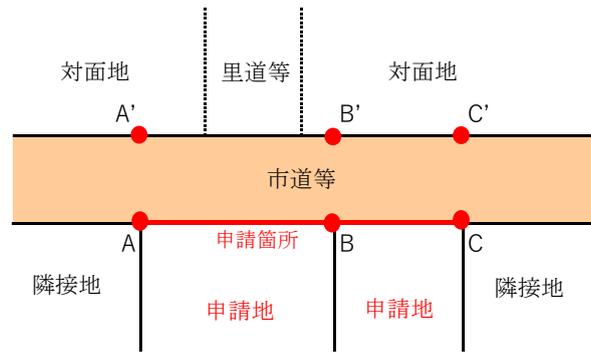
例① (道路構造物等有)

* 断面箇所はA、B、Cとする



例② (道路構造物等無)

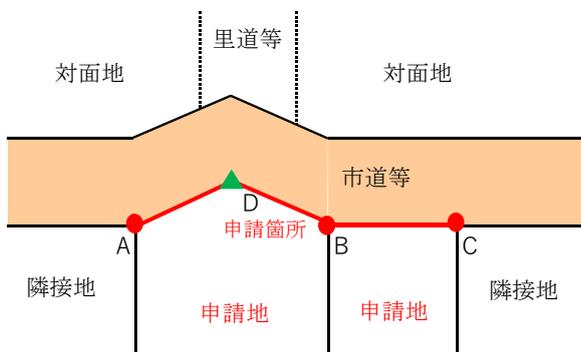
* 断面箇所はA-A'~C-C'とする



例③ (道路構造物等有)

* 断面箇所はA、B、Cとする

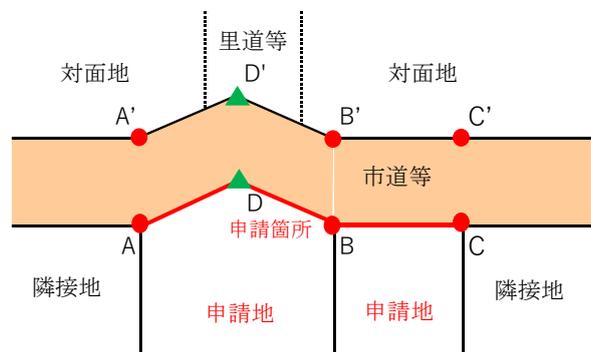
A~B間の距離が長い場合などは
折れ点(測点D)で断面を



例④ (道路構造物等無)

* 断面箇所はA-A'~C-C'とする

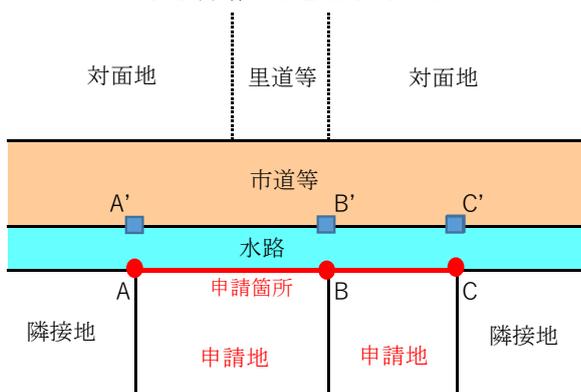
道路幅員が大きく変わる位置やA~B間の距離が
長い場合などは折れ点(測点D~D')で断面を



例⑤ (道路拡幅による水路付替え)

* 断面箇所はA-A'~C-C'とするが

手引き「6-(6)」により復元可能な場合は
測点A'~C'は省略することができる



○里道・水路の場合

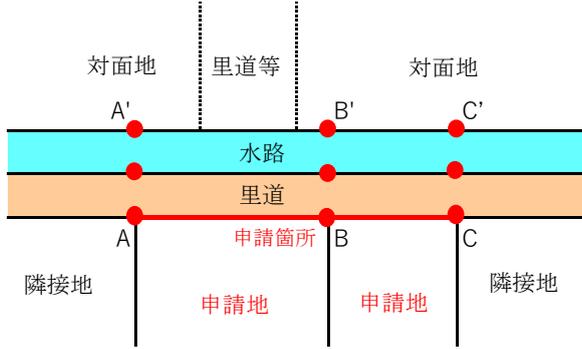
● ■ ▲ … 座標表示箇所

境界線上の折れ点で必要以上の断面を押える必要はありません

測点間距離が長い場合は測量者と相談し断面箇所を決定すること

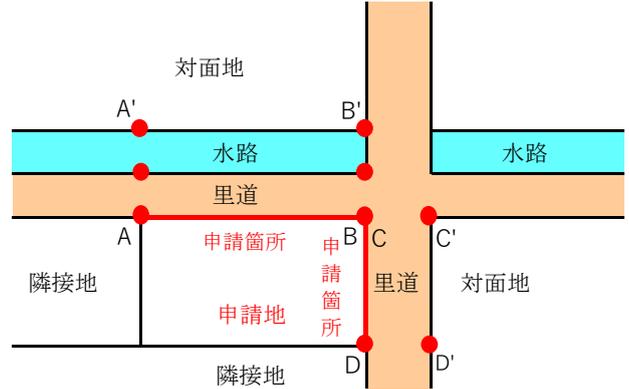
例⑥

* 断面箇所は A - A' ~ C - C' とする



例⑦

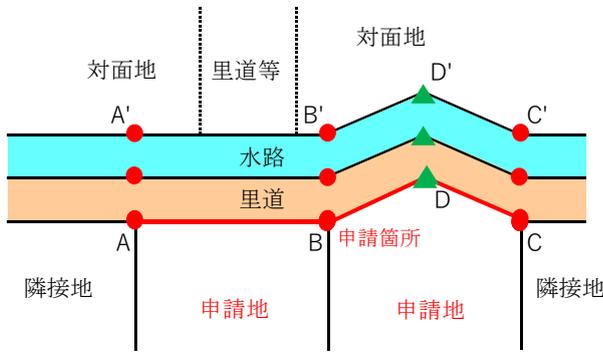
* 断面箇所は A - A' ~ D - D' とする



例⑧

* 断面箇所は A - A' ~ C - C' とする

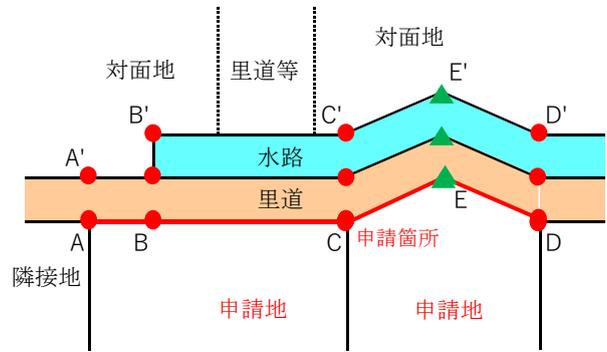
里道（水路）幅が大きく変わる位置や B~C間の距離が長い場合などは折れ点（測点 D~D'）で断面を



例⑨

* 断面箇所は A - A' ~ D - D' とする

対面側の水路始点を断面 B - B' とし境界線上の断面 E - E' は例⑧と同様



例⑩（対面地側に立会履歴があり A - B が同意線の場合）

* 断面箇所は A - A'、B - B' とする

境界確定済みの A' - B' および里道水路境の a - b は立会省略

